

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<5週> インフルエンザ - 全国平均の定点当たり報告数が、流行開始の指標と考えられる1を超えた / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<インフルエンザ> 第5週のインフルエンザ患者報告総数は6,177



病原体情報
P.5

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV検出報告



速報
P.6

持ち帰り弁当による黄色ブドウ球菌食中毒事例 - 姫路市



海外感染症情報
P.7-8

韓国で麻疹の流行 / デング熱と診断されていないデング熱患者 - 米国 / 他



感染症の話
P.9-11

アニサキス症
種々の海産魚介類の生食に起因し、感染源となる魚の漁期に関係して12～3月の寒期に多い傾向がある



読者のコーナー
P.12

神戸市における
アデノウイルス



グラフ総覧(5週)
P.13-19

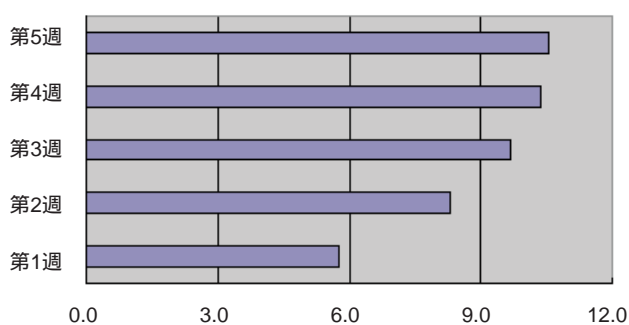


5週のデータ
P.20-27

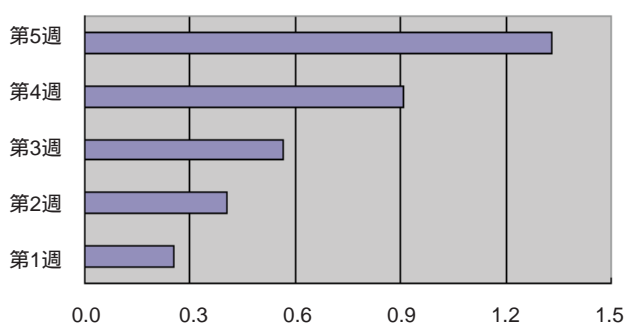
最近の注目疾患-5週間の動き

感染性胃腸炎はわずかに前週より定点当たり患者報告数が増加した。インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はここ5週間、定点当たり報告数が増加傾向にある。流行性耳下腺炎は前週より定点当たり報告数が増加した。水痘は前週より定点当たり報告数が減少し、ここ5週間で全体として減少傾向にある。

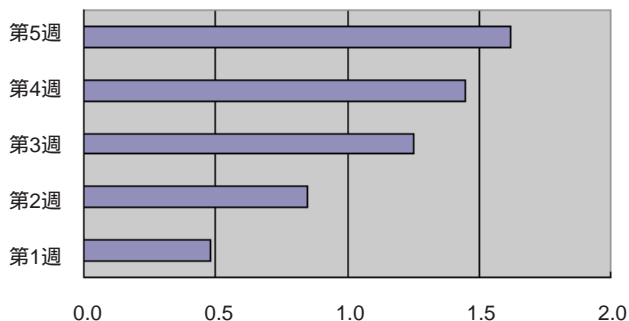
感染性胃腸炎



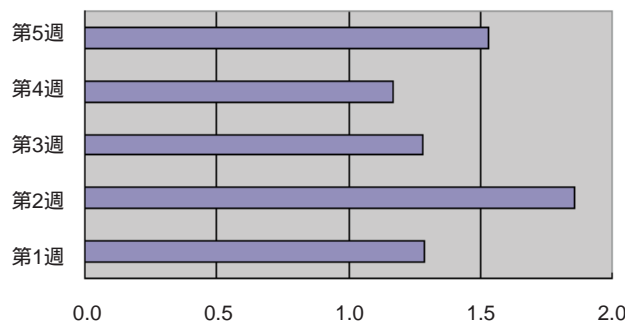
インフルエンザ



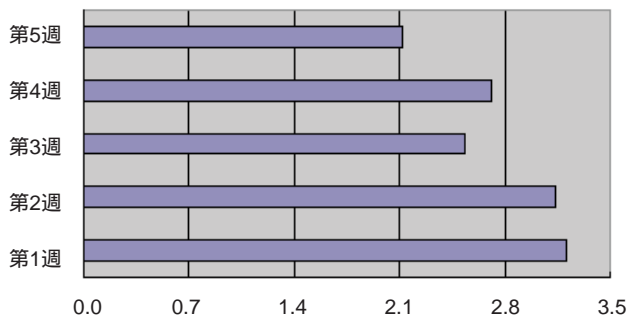
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



流行性耳下腺炎



水痘



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



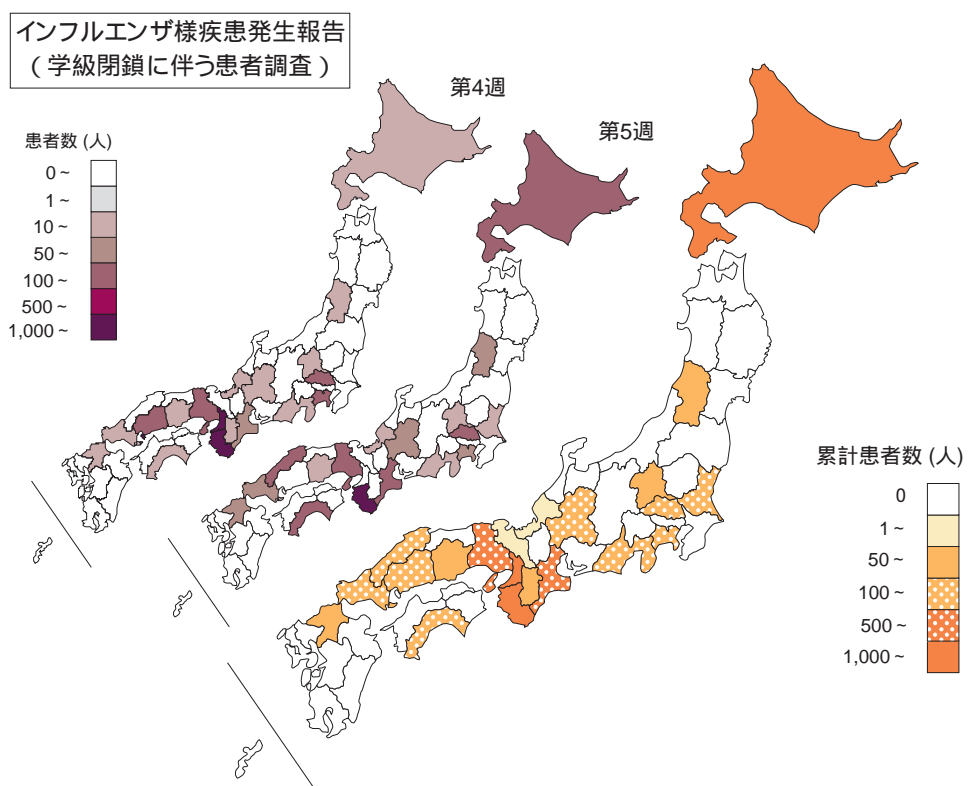
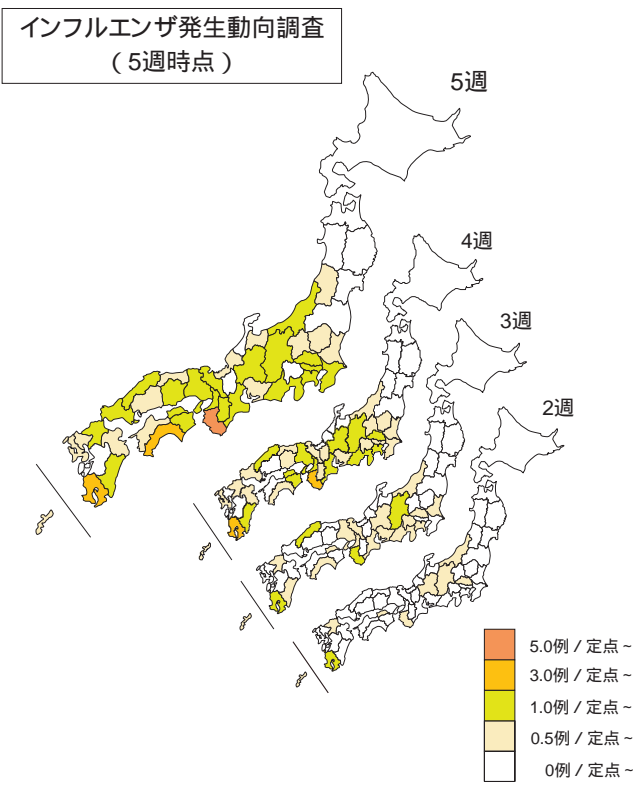
注目すべき感染症

インフルエンザ流行状況

2000/2001シーズンのインフルエンザ患者発生は、過去5シーズンに比べ立ち上がりは遅くなっていたが、2001年第5週になって流行開始の指標と考えられる定点当たり報告数1を超え、遅ればせながら流行期に入ったと考えられる。2001年第5週のインフルエンザ患者報告総数は6,177で、この1週間の1医療機関当たりの平均インフルエンザ患者受診数(定点当たり報告数)は1.33であった。他の都道府県に先駆けて定点当たり報告数が多くなっているのは、和歌山県(定点当たり報告数9.6)、高知県(4.2)、鹿児島県(3.1)などである(都道府県別患者発生状況については右図参照。インフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては5ページ病原体情報参照)。

厚生労働省健康局結核感染症課のまとめによると、インフルエンザ様疾患発生報告数における学校欠席者数は、平成12年10月29日から平成13年2月3日までの累計で4,271人であり、昨年同期の194,050人に比べ40分の1以下となっている。

感染症発生動向調査警報・注意報発生システムによれば、2001年第5週には、和歌山県の2保健所にインフルエンザ流行警報が、兵庫県の4保健所、和歌山県の2保健所、新潟県、奈良県、岡山県、高知県のそれぞれ1保健所にインフルエンザ流行注意報が発生している。





病原体情報

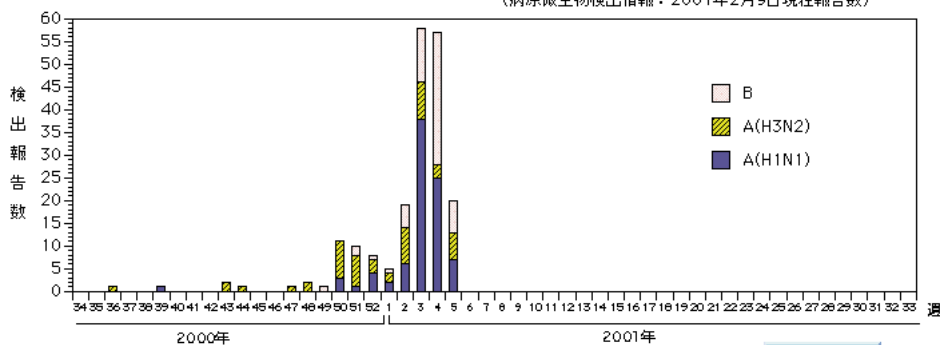
(2001年2月9日現在報告分)

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が93件、A/香港(H3N2)型が52件、B型が58件報告されている。最近では、A/ソ連(H1N1)型が第4週に山形県2、埼玉県2、千葉県6、神奈川県2、富山県1、福井県3、三重県3、大阪府1、大阪市2、兵庫県3、島根県4、香川県1、愛媛県1、第5週に札幌市1、千葉県1、神奈川県4、大阪市1、A/香港(H3N2)型が第4週に仙台市1、石川県1、大阪府1、第5週に仙台市1、山形県1、茨城県2、大阪府1、大阪市1、B型が第4週に茨城県1、横浜市1、静岡県8、大阪府2、堺市4、和歌山県6、島根県1、徳島県3、福岡市3、第5週に横浜市2、静岡県1、三重県3、大阪市1が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン
(病原微生物検出情報: 2001年2月9日現在報告数)



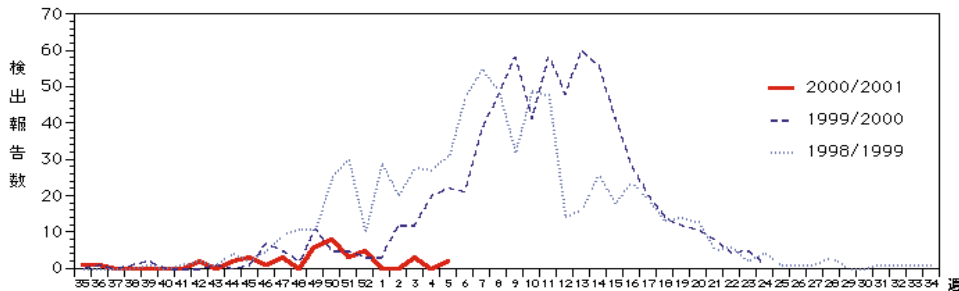
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は40件、SRSVの検出は328件報告されている。最近では、ロタウイルスは第3週に大阪市1、愛媛県2、第5週に新潟市1、大阪市1、SRSVは第3週に栃木県14、新潟県1、大阪市5、岡山県1、愛媛県1、第4週に新潟県3が報告されている。

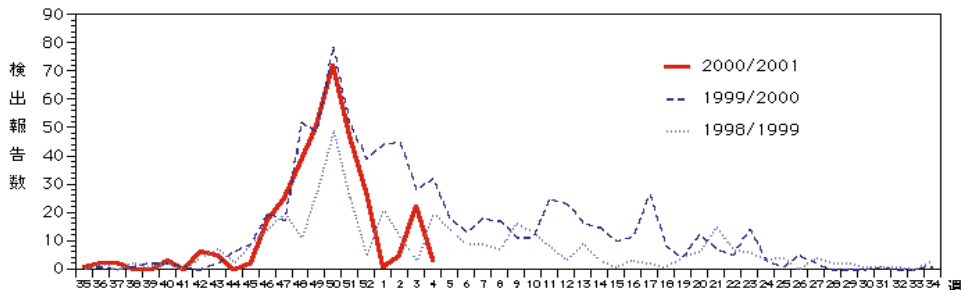
週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報: 2001年2月9日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較 (1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報: 2001年2月9日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





持ち帰り弁当による黄色ブドウ球菌食中毒事例 - 姫路市

2000(平成12)年10月19日、市内在住の男性から、弁当喫食後に嘔吐、下痢等の食中毒症状を呈した旨の連絡が姫路市保健所に入った。その男性は、18日20時頃に飲食店で持ち帰り弁当を購入しており、同保健所のその後の調査で、12グループ130名中19名が同様の症状を呈していることが判明した。主な症状は、下痢84%、腹痛74%、嘔吐68%、発熱15%で、平均潜伏時間は6.8時間であった。

このため当研究所は、有症者の糞便および吐物16検体、弁当を調製した飲食店の設備・調理器具のふきとり19検体、従業員の手指ふきとり12検体および糞便17検体、弁当の副食12品目、弁当の食材および保存食22検体、計98検体について依頼を受け、食中毒菌の検査を行った。

その結果、有症者糞便および吐物12検体(75%)、従業員手指ふきとり3検体(25%)、従業員糞便4検体(24%)、弁当副食11品目(92%)から黄色ブドウ球菌を検出した。さらにRPLA法(SET-RPLA;デンカ生研)により、これら分離菌30検体のエンテロトキシン検査を行ったところ、エンテロトキシンA型21検体(弁当副食11、有症者糞便7、有症者吐物1、従業員手指ふきとり2)、B型4検体(有症者糞便1、従業員手指ふきとり1、従業員糞便2)、C型1検体(有症者糞便)、A+B型1検体(有症者糞便)、陰性3検体であった。また、エンテロトキシンA型の分離菌のコアグララーゼ型別はIII型であった。

弁当副食のほとんどから平均 3.3×10^8 CFU/gの黄色ブドウ球菌が検出されたが、この弁当は、保健所に第一報を入れた男性が18日19時に購入し、家庭の台所に放置していたものであり、副食同士が接触していたためと考えられた。また、18日12時頃に2個購入した弁当を購入後すぐ喫食した人は無症状にもかかわらず、購入後3時間以上経過してから喫食した人は症状を呈したという情報などから、原因食品は18日の昼～19日の昼頃にかけて調製された弁当であると推定された。保健所の調査によると、手荒れや絆創膏をした従業員がいたこと、および手指のふきとり検査の結果から、汚染要因は従業員によるものと推測された。また、原因菌の増殖要因としては、副食物を容器に詰め合わせ、室温に放置するなど、マニュアルどおりに行なわれていないことが考えられた。

以上のような状況であったが、施設および調理器具から原因菌が検出されなかったこと、弁当の食材および保存食が一部しか保存されておらず、これらから原因菌は検出されなかったこと、さらに、検出された黄色ブドウ球菌の菌数が、弁当の副食の間で有意な差がみられなかったことから、原因となる調理行程および食材を特定することはできなかった。

姫路市環境衛生研究所 川西伸也
 姫路市保健所衛生課 正岡聖史

(IASR2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

韓国で麻疹の流行

WHO/CSR 2001年2月9日

2000年3月から2001年1月にかけて韓国で全国規模の麻疹の流行があり、死者6人を含む39,537例が報告された。麻疹の流行は初め韓国東部から起こり、2000年10月から患者が着実に増加している。2001年1月には7,449例の麻疹患者が報告された。麻疹の診断は血清学的検査で確認されており、9例からは麻疹ウイルスが分離された。

韓国保健省は積極的なサーベイランス、保健教育および患者管理を実行し、学校では出席停止基準がより厳密に行われている。学校ベースのワクチンキャンペーンが2001年5月に実施される予定である。

南アフリカのコレラ流行 - 更新

WHO/CSR 2001年2月5日

Kwazulu-Natal保健省は2000年8月中旬から始まった流行で2月4日までに、コレラ患者37,204人と死者85人を報告した。保健省は、感染率は高率であるが0.4%以下という致死率は非常に低い、と述べている。

現在の流行への対応として、保健当局は他の関係部門と協力して清潔な水を供給し、教育を行うのに加えて臨床的な治療を行っており、コレラの汚染地域での生活方法について情報提供を行っている。十分に上下水道を整備する長期的なプログラムが3年間に渡って実施される予定である。

Kwazulu-Natalへ旅行することや同地域からの移動に関して、特別な制限はされていない。

ワクチンから派生したポリオウイルス2型株の流行 - エジプト

WHO/WER 2001年1月26日

1988年から1993年にポリオ患者32人がエジプトの27地区のうち8地区から報告された。最初に調べられた分離株の抗原は全てワクチン株由来の特徴を示していなかったが、1999年に行われた遺伝子配列の解析では、全ての患者からの分離株は経口ポリオワクチン(OPV)のセービン2型株に関連があることが判明した(遺伝子配列で93%～96%が一致)。分析の結果、全ての患者が1つの感染源から感染したことが示唆された。

ポリオウイルス野生株1型が広域に流行していて、ポリオウイルスの汚染地域でのOPVの接種率が低い時に、OPVから派生した2型株の流行が発生した。OPVの接種率は1990年代半ばに徐々に増加し、1993年以降エジプトではポリオの伝播は見られなくなった。

【WER編集部注】OPV由来株や野生株の流行阻止や輸入例を防ぐためにも、ワクチンの接種率の低い地域では接種活動を強化するべきである。

デング熱と診断されていないデング熱患者 - 米国

MMWR 2001年2月2日

1980年以来、デング熱の流行がメキシコと米国の国境の地域で報告されている。テキサスのラレド(1999年の人口162,000人)からのデング熱の報告は1987年から1999年7月まで1例もなかったが、隣接するメキシコのタマウリッパス州のヌエボラレド(1999年の人口274,000人)では、1999年の1月から7月の間におよそ300から325例のデング熱患者が報告された。デング熱と診断されていないデング熱患者、または報告されていないデング熱患者がラレドで発生していたのかどうかを調べるために、テキサス保健当局はラレドの5カ所の医療施設の医療記録を再調査した。

1999年の7月23日から8月20日の494例の記録から、49例のデング熱疑い例が確認された。そのうち、24人(49%)に連絡が取れ、聞き取り調査が行われた。このうち、22人(92%)が血液検査に同意した。11例に最近のデング熱感染が血清学的に認められた。11例のうち10例(91%)がIgMおよびIgG抗体の両方が陽性であった。1例がIgM抗体が陰性であったが、IgG抗体の力価が3カ月で4倍に上昇した。11人のデング熱確定患者の症状は発熱(100%)、関節炎(73%)、頭痛(64%)、悪心(64%)、発疹(45%)であった。退院時に「ウイルス症候群」または「ウイルス熱」の診断が9例(82%)に、インフルエンザ様疾患の診断が2例(18%)にしていた。

9人の患者には、発病の2週間以内にメキシコへの旅行歴があった。2人はテキサスから外には出ていなかった。



感染症の話

アニサキス症

アニサキス症は種々の海産魚介類の生食に起因する。日本人の食習慣からみてアニサキス症はかなり古くからあった病気と考えられるが、原因となる虫種が同定されたのは1960年代である。当初は診断の方法がなく、その急激な腹部症状から開腹して患部が切除され、病理学的に初めてアニサキス症であることが解ったケースが殆どであった。しかし、70年代以降になって内視鏡検査の普及とともに生検用鉗子での虫体摘出が可能となり、意外に多数の例が発生していることが明らかになってきた。このような診断技術の高度化に先行するように、60年代に始まる経済の高度成長を背景とする生鮮食料品輸送体系の近代化があった事が、わが国でのアニサキス症発生の広域化と多数発生的前提になってきた。

疫学

魚介類を寿司や刺身で生食する習慣のあるわが国ではアニサキス症の発生は諸外国に比べて非常に多く、1年間に2,000例から3,000例に上ると見られる。わが国ではこれまで、アニサキス症を「食中毒」として取り扱い急性胃腸炎の原因として届出の対象とする認識が薄かった。他方で、アニサキスと同様に海産魚介類の生食という食習慣に起因する食中毒原因菌として腸炎ビブリオがある。腸炎ビブリオによる食中毒は届出によって把握されており、1987年から1991年までの5年間に1,461件発生し、40,226人の患者が記録されていた(2000年第48号掲載「感染症の話」、図1参照)。同じ期間に何名ほどのアニサキス症患者が出ていたかということに関しては、学会などで発表された数から集計(石倉肇,1995)すると、14,302人であった。即ち、この期間、腸炎ビブリオによる食中毒患者発生数を3とするとアニサキス症患者は1以上という比率であった。

アニサキス症がよく発生する時期は12～3月の寒期が多く、7～9月の暖期に最も少ない傾向がある。これはアニサキスの感染源となる魚の漁期に関係している。つまり、北方ではタラ、オヒョウ、その他の海域ではサバ、イワシなどの漁獲期がこの時期である事による。アニサキス症の好発時期に関しては、腸炎ビブリオを原因とする食中毒が5月から11月の時期、特に7～9月の夏期に際立って多いことと好対照をなすものといえる。

病原体

アニサキス類の成虫は、クジラやイルカ、又はアザラシなどの海産哺乳類の胃に寄生している。虫卵は糞便とともに海中に放出され、オキアミなどの甲殻類を中間宿主として第3期幼虫に发育する。幼虫を宿すオキアミが多くの種類の魚やイカに摂食されると、新しい宿主の体内で第3期幼虫のまま留まって寄生を続ける(写真1)。そしてこれらが本来の終宿主である海産哺乳類に摂食されると、幼虫は胃内で成虫となり生活史は完結する。ところが、本来の宿主ではないヒトがこれらの海産魚やイカを生食した場合、幼虫は生きてまま摂取され、胃壁や腸壁に侵入するところとなってアニサキス症の病原となる。この幼虫はヒトの体内で寄生し続けることはできない。わが国で病原として通常見出されているアニサキス類の幼虫は *Anisakis simplex*, *Anisakis physeteris* 及び

Pseudoterranova decipiens であり、これらの体長は夫々19mm～36mm、25mm～33mm、11mm～37mmである。このように病原となる第3期幼虫は十分に肉眼で見える大きさであり、わが国の近海産の魚とイカを調査したところ、150種以上にものぼる非常に広範囲の魚種から見出されている。



写真1 . スケトウダラに寄生するアニサキス幼虫
(リング状のもの)

臨床症状

ヒトに摂取されたアニサキス類幼虫が消化器系の粘膜から侵入した時にアニサキス症が起きるが、その症状の強さで激症型と軽症型に分けられている。前者は即時型過敏反応による消化管の攣縮を伴うもので、予めアニサキス抗原で感作されているか、再感染の場合であると云われている。

1) 胃アニサキス症

胃アニサキス症の場合は原因食品摂取後2時間から8時間で発症するものが多く、心窩部に締め付けられるような差し込むような痛みが起きて、それが持続し、また悪心、嘔吐を伴う場合がある。時に、下痢、蕁麻疹、大量吐血を見ることもある。

2) 腸アニサキス症

腸アニサキス症の場合では原因食品の摂取後、数時間から数日して臍部を中心に差し込むような痛みが出現し、悪心、嘔吐を伴う。発熱はないが、虫垂炎、腸閉塞、腸穿孔などと誤診されて急性腹痛として開腹手術を受けることがある。

3) 腸管外アニサキス症

稀に消化管を穿通し消化管以外の臓器に迷入して種々の症状を起こすか、他疾患の処置に当たって偶然に虫体が発見される事がある。胸腔、肺、腹腔、腸管膜、肝、リンパ節、皮下など体内のあらゆる所に及び、現在までに報告は50例を越える。

病原診断

診断上、生鮮魚介類の摂取後に起きた腹痛という事がポイントであるが、胃内寄生の場合は上部消化管内視鏡により虫体を確認し摘出する。摘出虫体は70パーセントエタノールで固定した後、グリセリン・アルコールで透徹した上で各部の計測と形態的特徴から病原幼虫の種類が決定される。小腸アニサキス症では特徴的な超音波像、X線像所見が重要である。

一方、急性症状があったが自然に消失したり対症療法で症状が消失したりした場合、組織に侵入、死滅した虫体を中心に好酸球性肉芽腫が形成され、偶然の機会に発見されることがある。これらの病理組織切片中に見出される虫体断端は、その形態的特徴から病原幼虫の同定が可能である。

治療・予防

アニサキス症はたとえ幼虫1匹の感染であっても起きる可能性があり、個人レベルでの予防は海産魚介類の生食を避ける事につきる。あるいは、生食に当たっては冷凍処理後に解凍して調理されたものであれば問題はない。アニサキス幼虫は熱処理(60 1分以上)のみならず、冷凍処理でその殆どが不活性化することが知られているからである。オランダにおいて、1968年以来ニシンに関して-20 以下24時間以上の冷凍を法律で義務付けた結果、アニサキス症の患者が激減したことは有名である。米国のFDA(食品医薬品局)は、生食用の魚について、-35 以下15時間または-20 以下7日間の冷凍処理を勧告している。また、EU(欧州連合)の衛生管理基準では海産魚類の視覚による寄生虫検査を義務付け、生食用の海産魚に関して冷凍処理(-20 以下24時間以上)を指示している。

治療法としては、胃アニサキス症の場合内視鏡下に虫体を摘出し、のち対症療法を行う。腸アニサキス症ではイレウス症状を呈さない状態のとき、対症療法を行いながら幼虫が死亡、吸収されることによって症状が緩和するのを待つ。現在のところ、本幼虫に対して効果的な駆虫薬は開発されていない。

食品衛生法での取り扱い

1999年12月28日に食品衛生法施行規則の一部改正(厚生省令第105号)が行われ、食中毒事件票の一部が改正された。これに伴ってアニサキスも食中毒原因物質として具体的に例示されることとなった。従って、アニサキスによる食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出ることが必要である。

(国立感染症研究所寄生動物部 川中正憲 杉山 広)



読者のコーナー

神戸市におけるアデノウイルス

感染症週報IDWR(2000年51・52合併号)の仙台・山形でのアデノウイルスの流行についての記事を読み、私の経験をお知らせします。

私は神戸市の新興住宅地で小児科医院を開業しています。3年前より簡易アデノウイルス抗原検出キット(アデノ・チェック)を使ってアデノウイルス感染の診療を行っています。

平成12年、当院でアデノ・チェックが陽性でアデノウイルス感染と確定された症例数は、合計100例です(右表参照)。

10月に流行の兆しが見え始め、11月と12月に症例が急速に増加しました。流行は幼稚園・保育所を中心に広がり、家族内感染が見られ両親も罹患した例もありました(当院は小児科単科なので、この数字の中には成人の症例は含まれていません)。症状は典型的な咽頭結膜熱、滲出性咽頭扁桃炎、胃腸症状の強い症例、気管支炎等様々でした。発熱期間は4～5日が多かったのですが、中には7～8日も続き、病名がアデノウイルス感染症と分かっていなかったら不明熱で心配したと思われる症例も見られました。アデノ・チェックで確定診断できた症例以外にも、症状からはアデノウイルスが病因だろうと思われる症例がありました。家族内感染と考えられる症例の中に3～4週間してから発症した例もありました。

アデノウイルスは外来診療で大きなウェイトを占めていることが、今回の流行でよくわかりました。なお、ウイルス分離は実施していませんのでアデノウイルスの型は不明です。

1～3月	0
4月	5
5月	0
6月	6
7月	1
8月	4
9月	2
10月	7
11月	34
12月	41 (例)

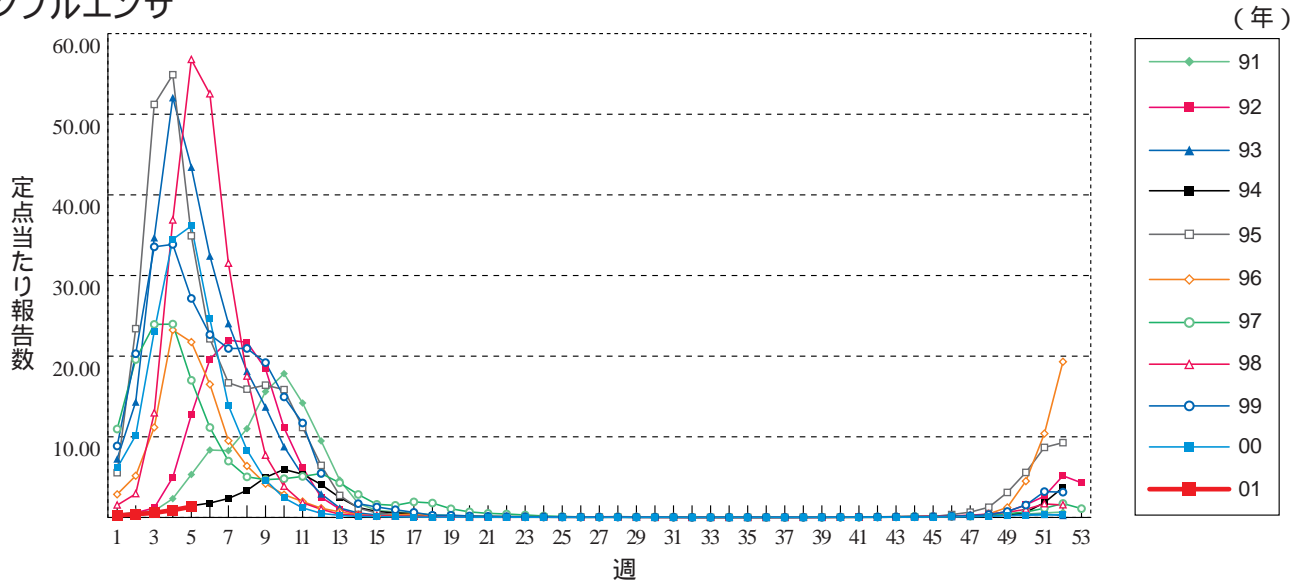
神戸市 西村清子(小児科医)

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

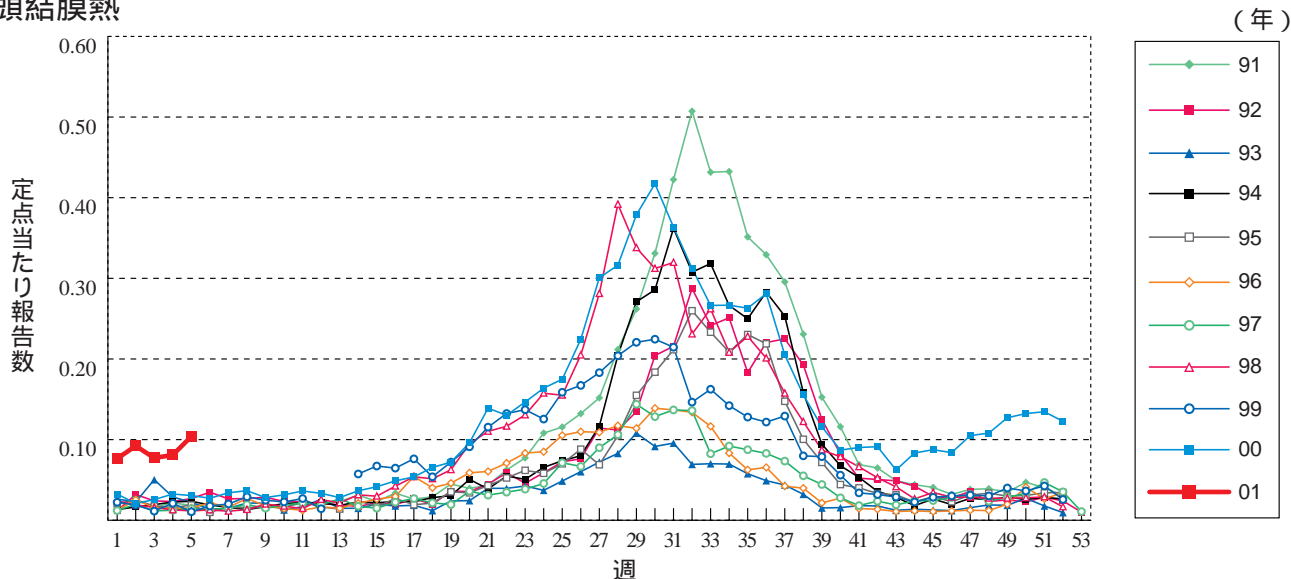
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(5週)

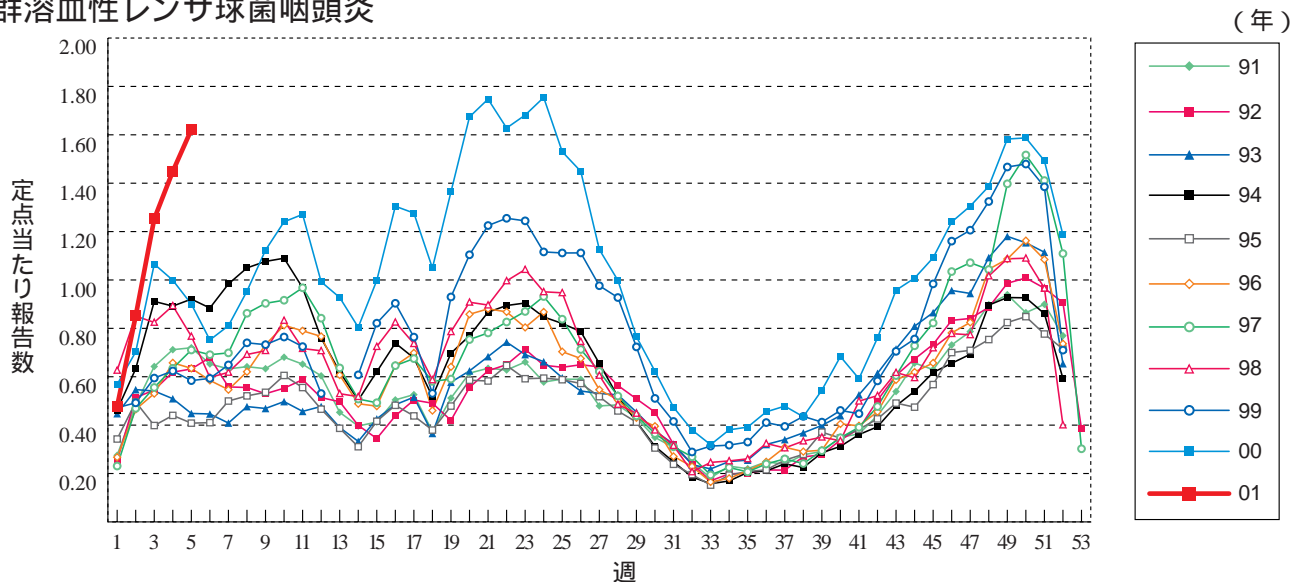
インフルエンザ



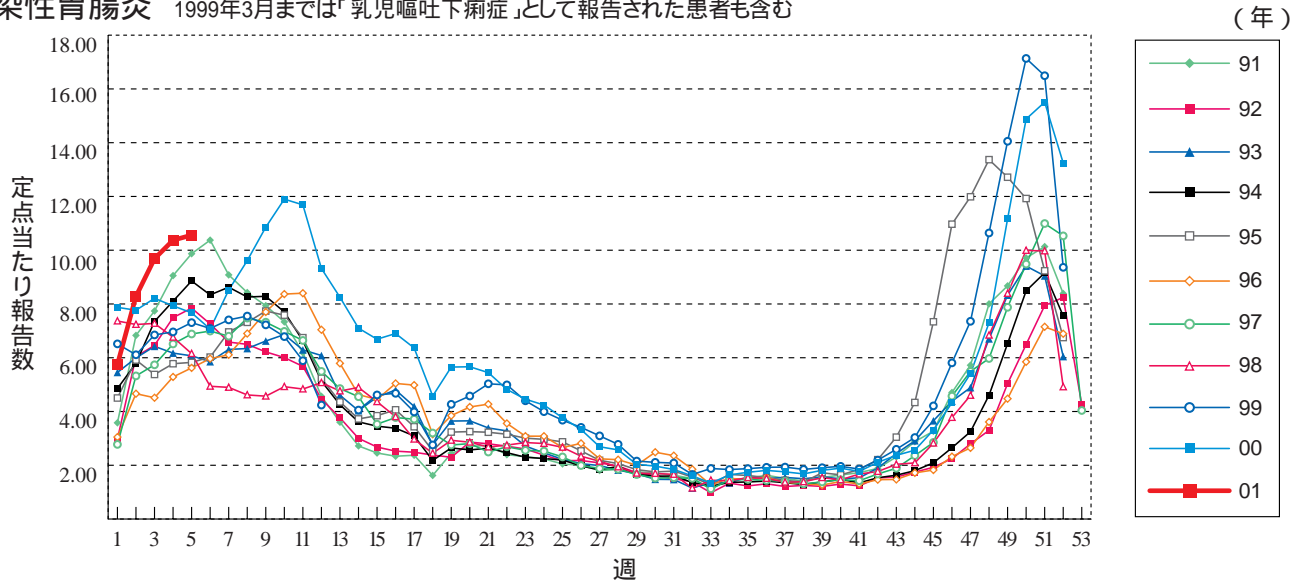
咽頭結膜熱



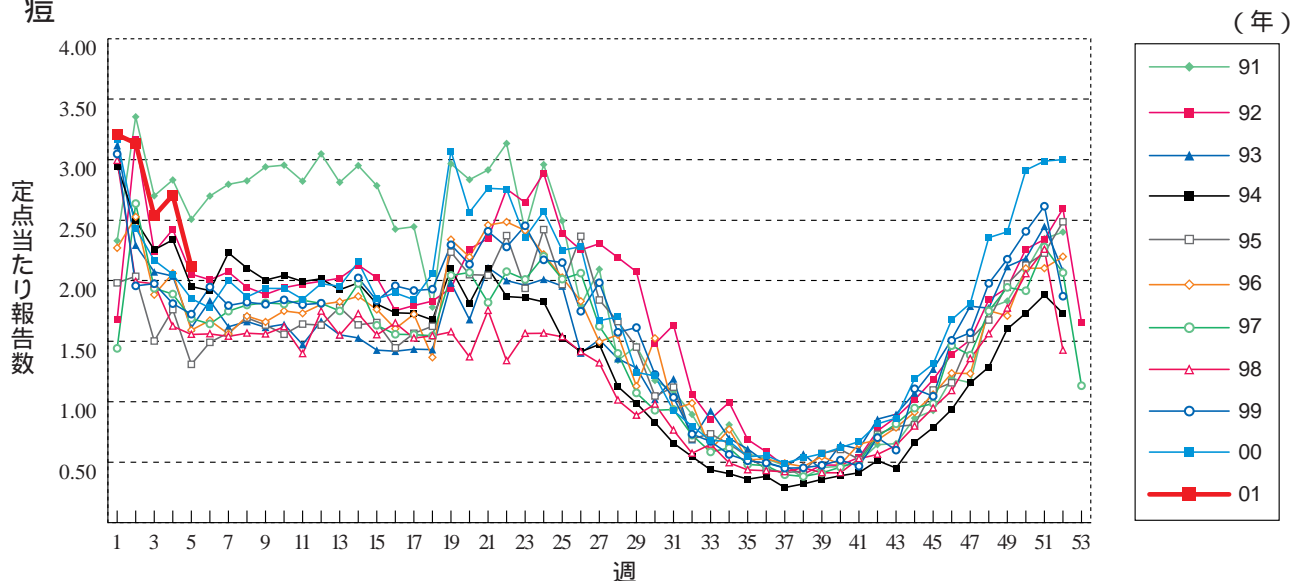
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



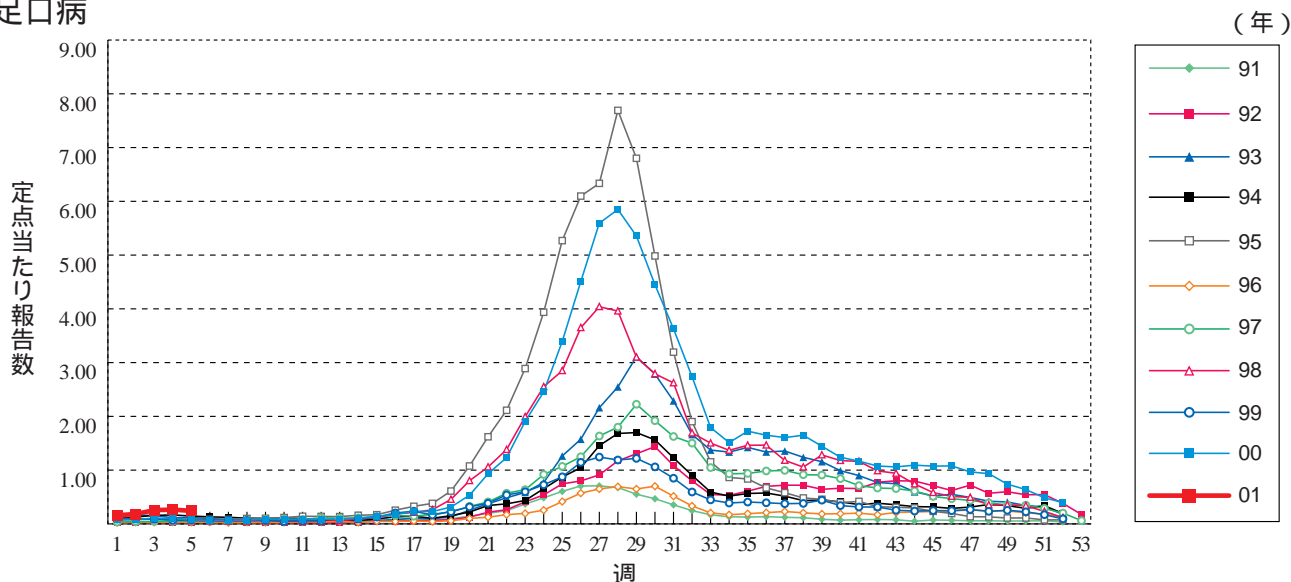
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



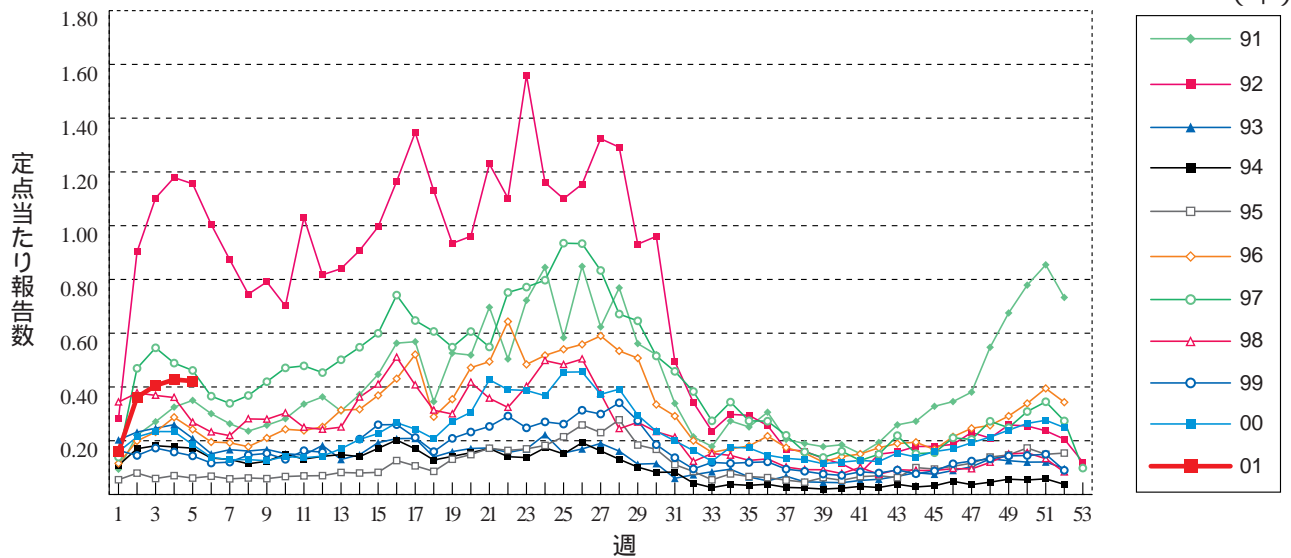
水痘



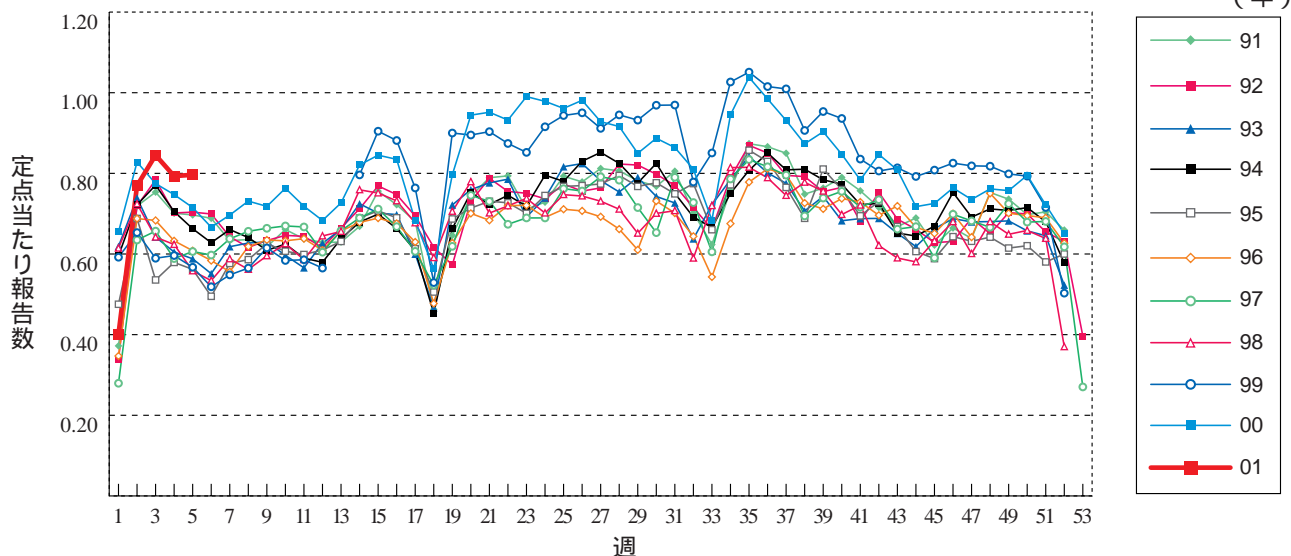
手足口病



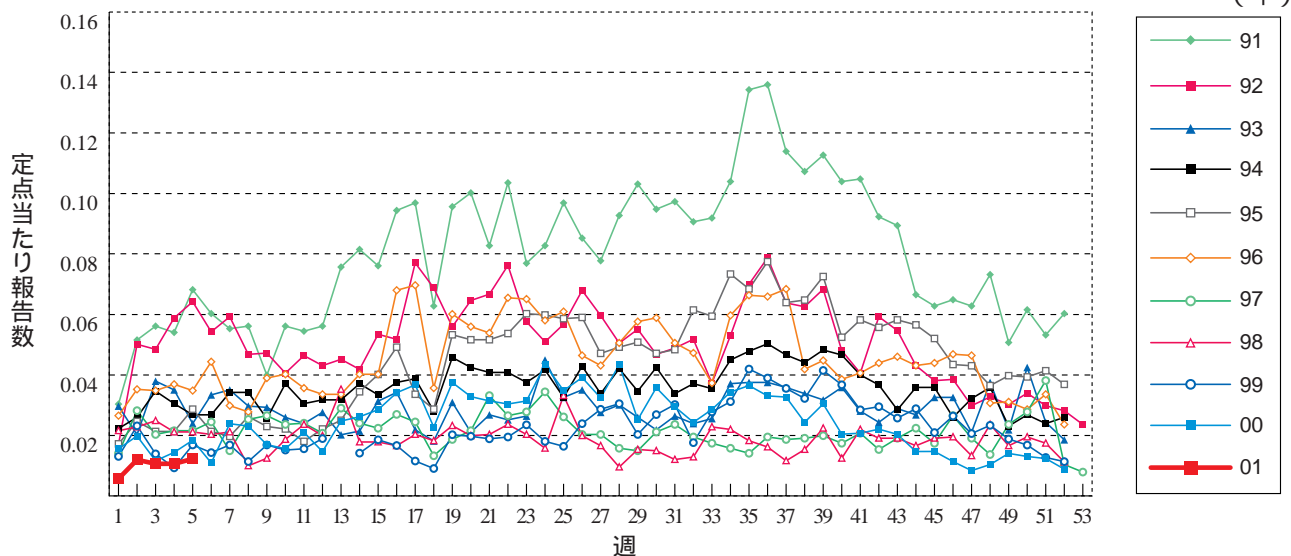
伝染性紅斑



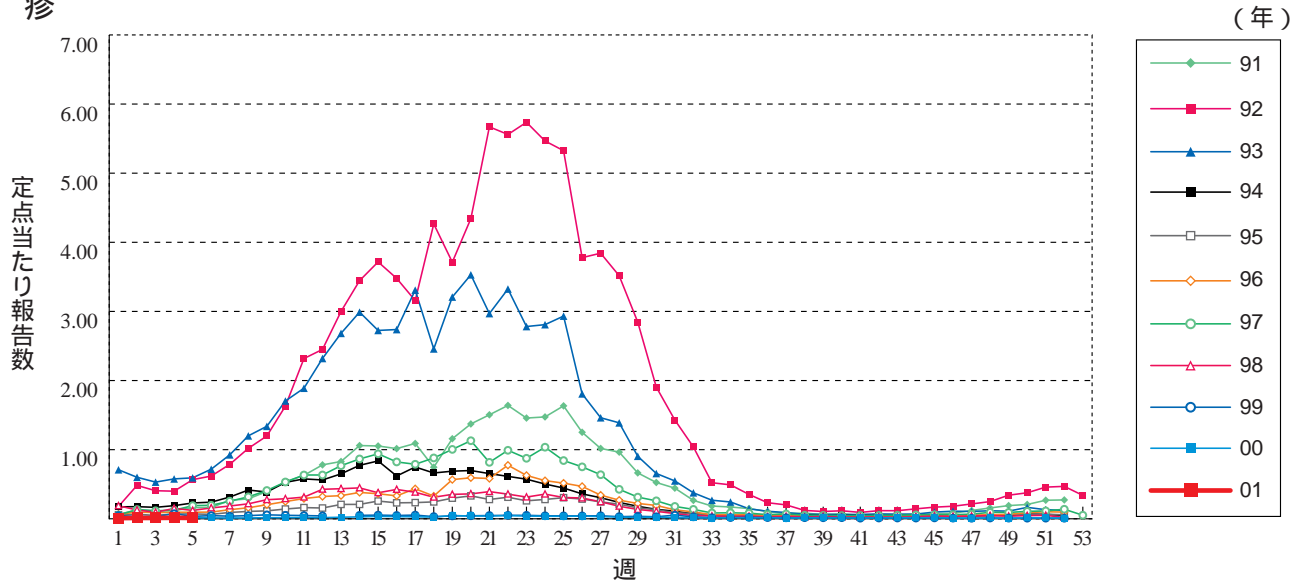
突発性発疹



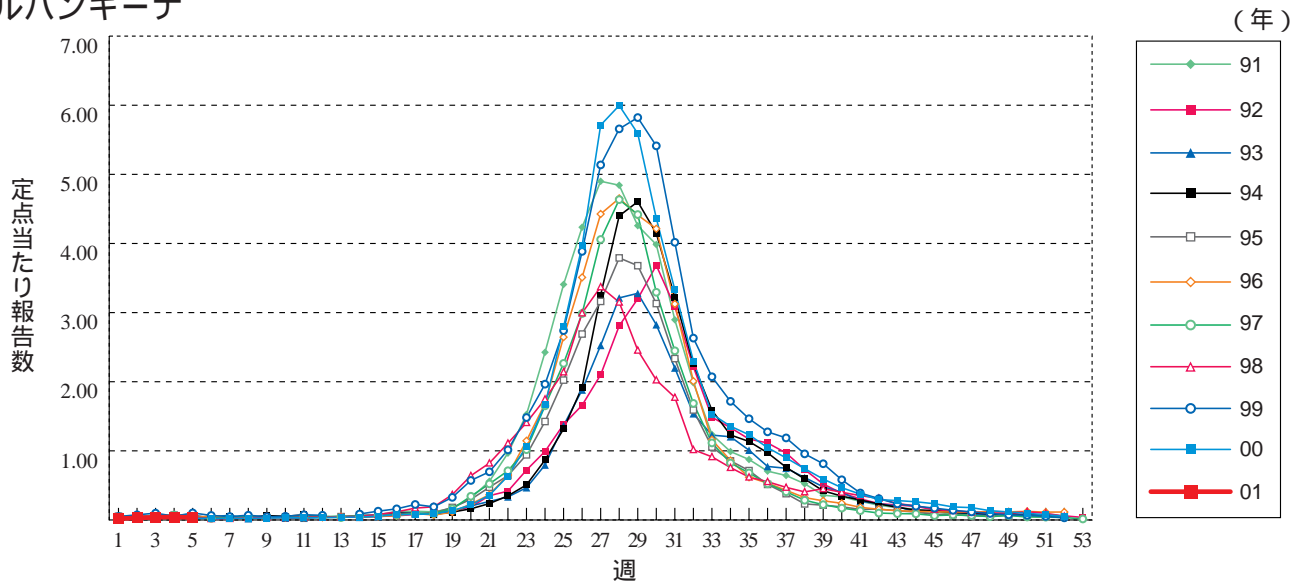
百日咳



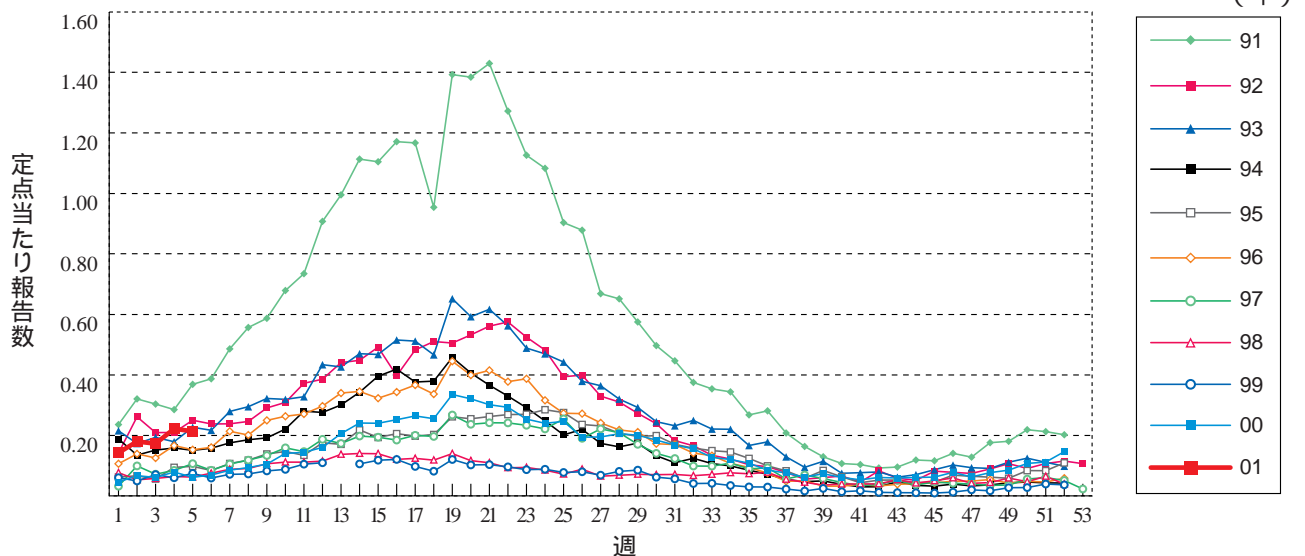
風 疹



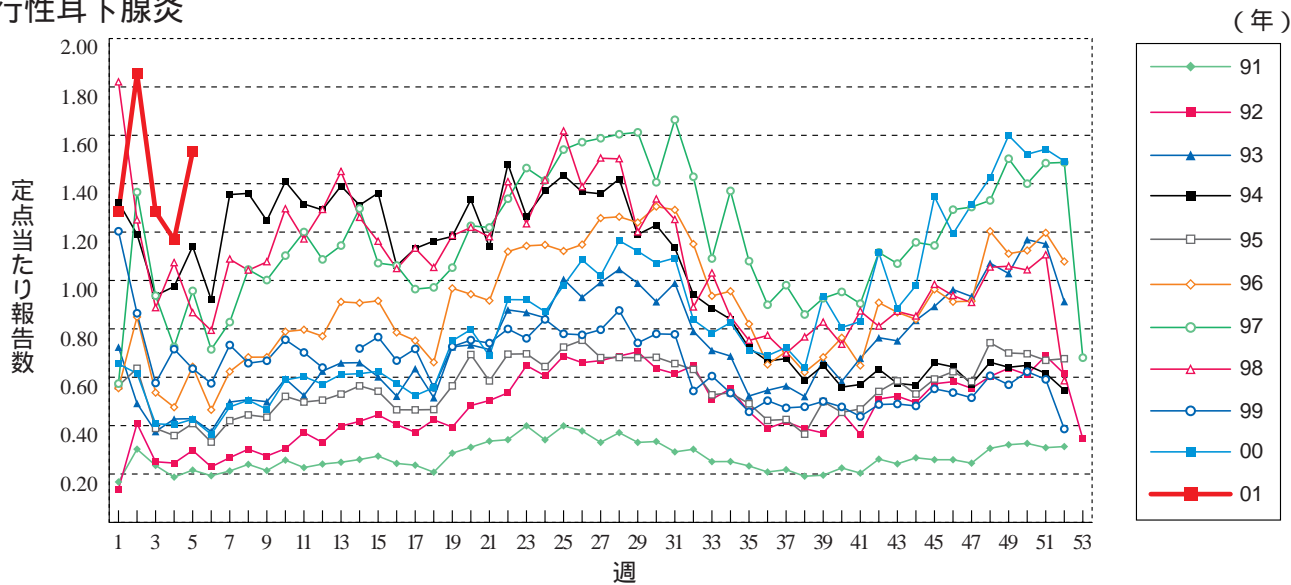
ヘルパンギーナ



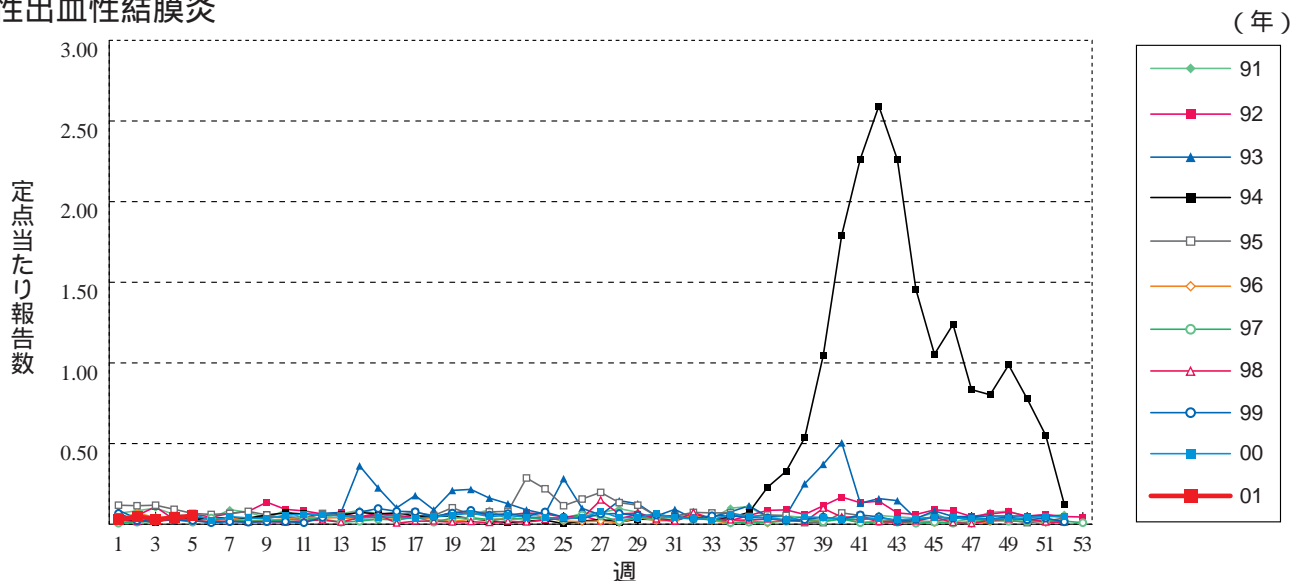
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



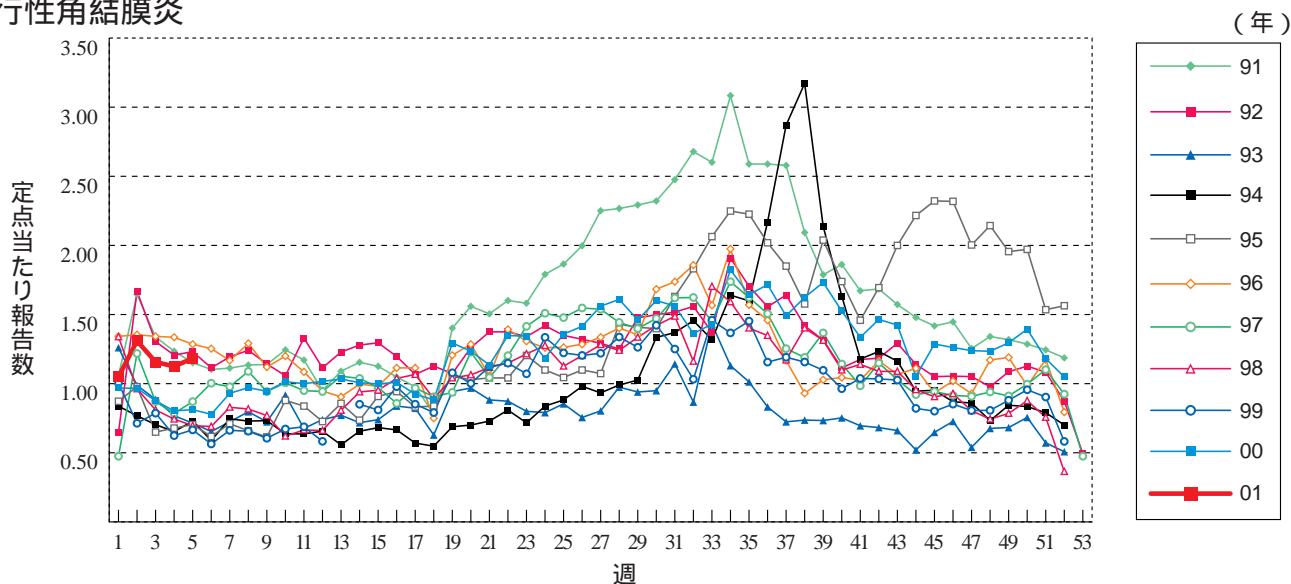
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

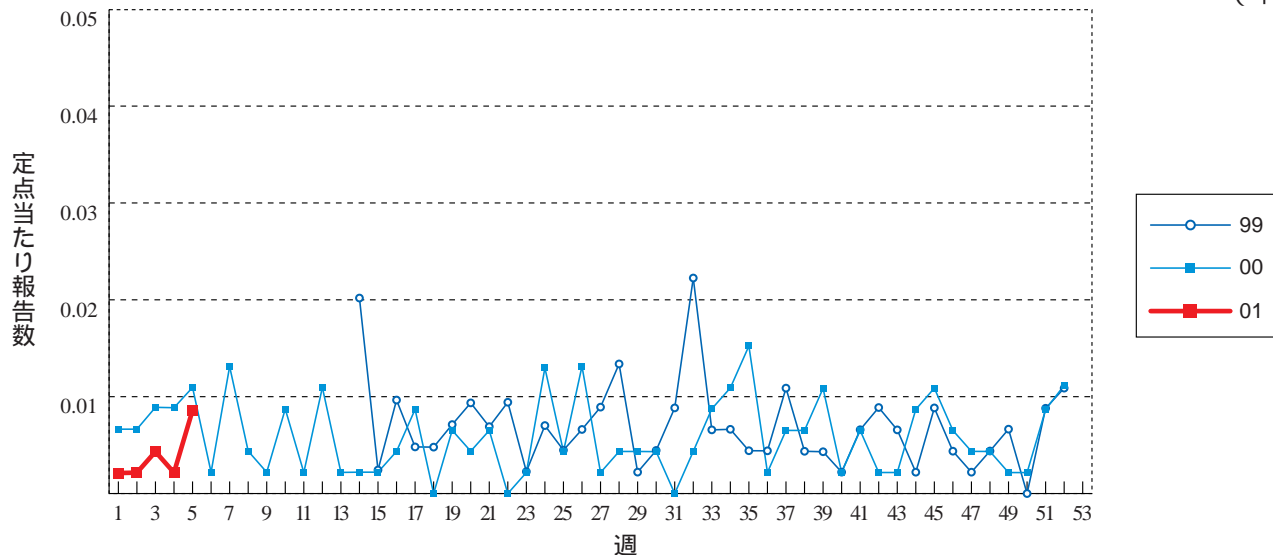


流行性角結膜炎



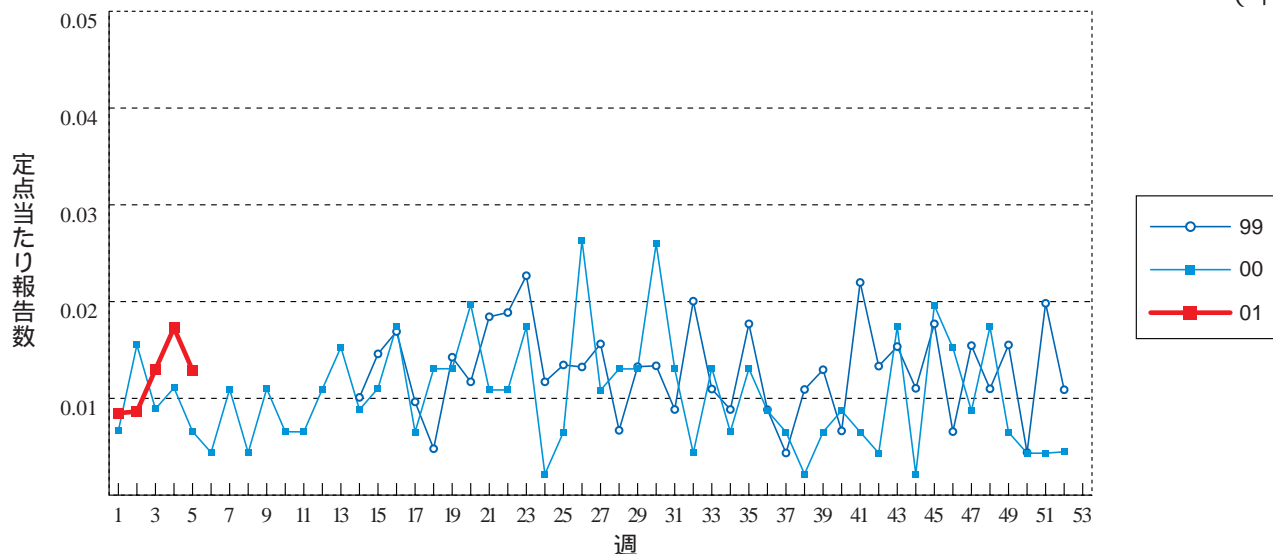
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



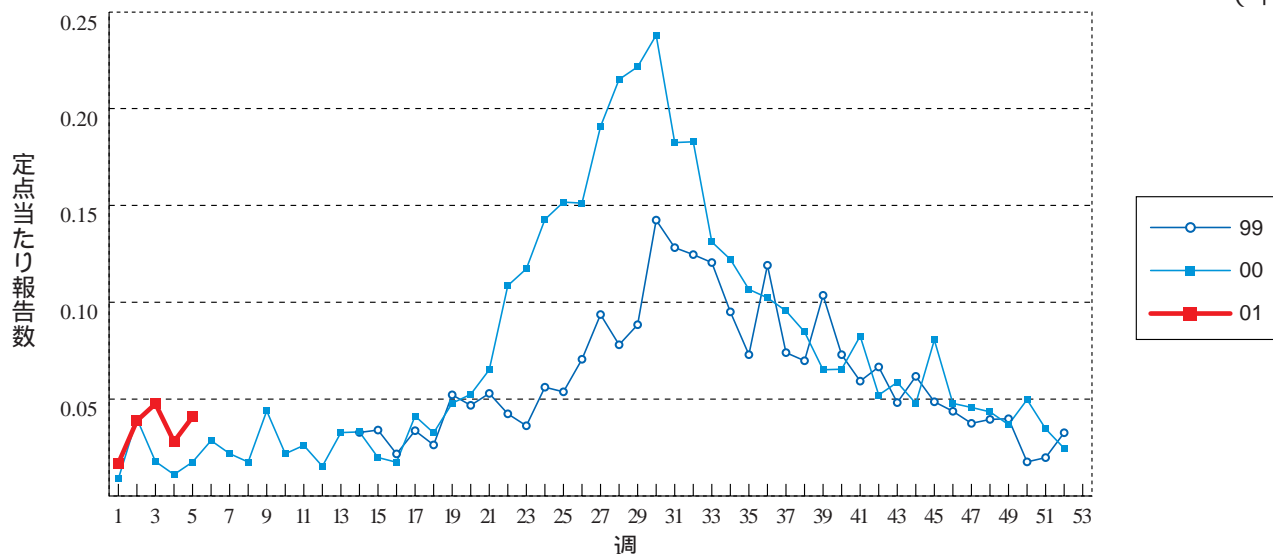
細菌性髄膜炎

(年)



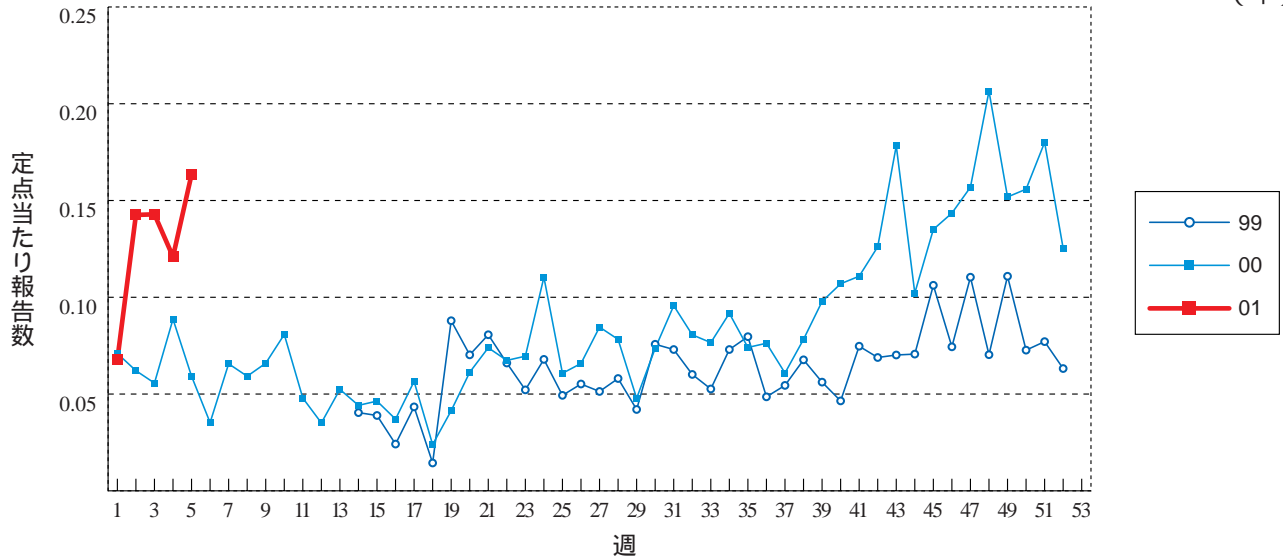
無菌性髄膜炎

(年)



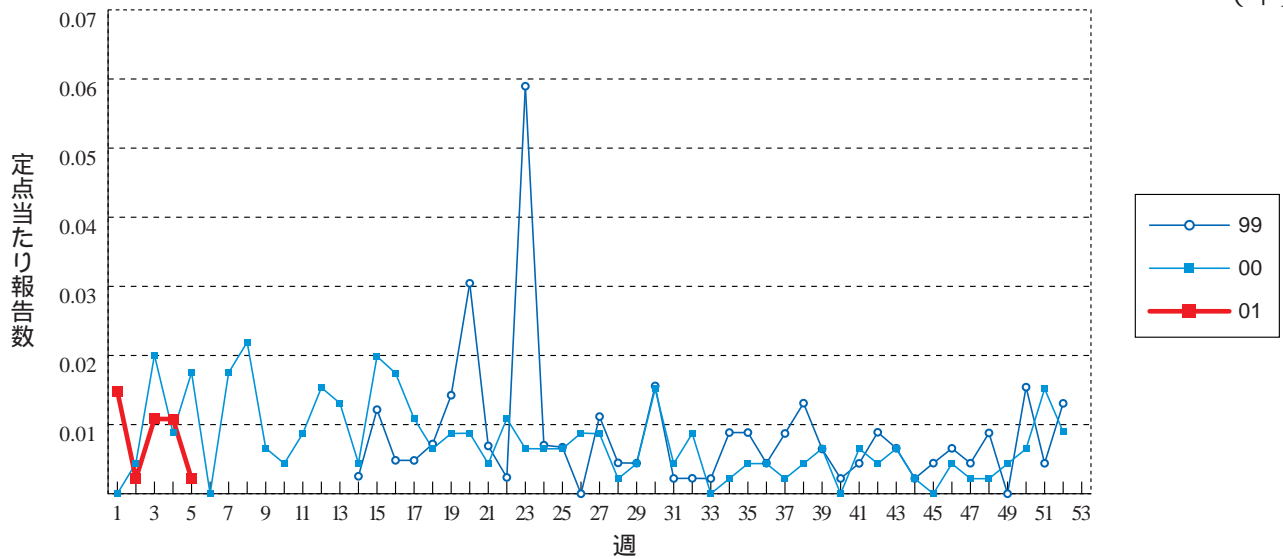
マイコプラズマ肺炎

(年)



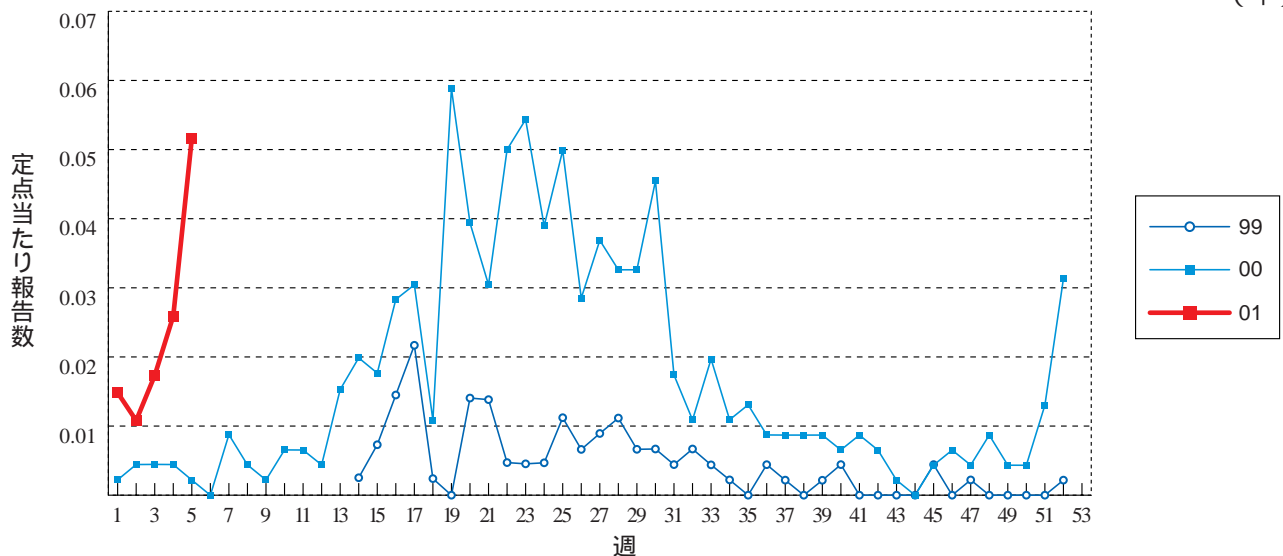
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





5週のデータ

注)表中の報告数は2月8日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年5週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	4	44	-	3	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年5週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	8	61	4	30	-	-	-	-	-	3	-	-	7	35
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	2	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	8	1	5	-	-	-	-	-	2	-	-	2	5
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
三重県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	2	8	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
奈良県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年5週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	9	-	4	7	57	-	1	1	8	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	23	-	-	1	5	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年5週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	33	1	3	-	-	-	-	-	-	6	45
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	1	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年5週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	2	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年5週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	6177	1.33	314	0.10	4898	1.62	31904	10.56	6387	2.11	732	0.24	1275	0.42	2406	0.80	37	0.01
北海道	60	0.26	2	0.01	273	1.88	601	4.14	251	1.73	2	0.01	47	0.32	93	0.64	1	0.01
青森県	17	0.27	-	-	39	0.95	251	6.12	79	1.93	21	0.51	4	0.10	21	0.51	-	-
岩手県	28	0.45	-	-	41	1.08	306	8.05	56	1.47	5	0.13	60	1.58	15	0.39	-	-
宮城県	33	0.34	15	0.25	149	2.53	1138	19.29	157	2.66	12	0.20	48	0.81	64	1.08	2	0.03
秋田県	14	0.25	3	0.09	44	1.26	512	14.63	57	1.63	3	0.09	4	0.11	25	0.71	-	-
山形県	35	0.73	3	0.10	95	3.17	460	15.33	65	2.17	6	0.20	31	1.03	27	0.90	3	0.10
福島県	22	0.30	-	-	46	0.96	443	9.23	104	2.17	10	0.21	19	0.40	35	0.73	-	-
茨城県	80	0.68	1	0.01	147	2.01	645	8.84	149	2.04	16	0.22	13	0.18	31	0.42	-	-
栃木県	37	0.53	1	0.02	191	4.15	401	8.72	88	1.91	8	0.17	14	0.30	40	0.87	-	-
群馬県	94	0.94	4	0.06	147	2.37	504	8.13	123	1.98	12	0.19	20	0.32	39	0.63	1	0.02
埼玉県	487	1.91	19	0.12	440	2.78	2164	13.70	314	1.99	31	0.20	123	0.78	116	0.73	1	0.01
千葉県	275	1.34	17	0.13	240	1.82	1677	12.70	249	1.89	14	0.11	90	0.68	104	0.79	2	0.02
東京都	195	1.10	10	0.07	102	0.72	1167	8.22	161	1.13	11	0.08	80	0.56	63	0.44	-	-
神奈川県	432	1.32	33	0.16	250	1.22	2208	10.77	422	2.06	25	0.12	94	0.46	217	1.06	1	0.00
新潟県	110	1.11	19	0.32	224	3.73	674	11.23	158	2.63	6	0.10	16	0.27	57	0.95	-	-
富山県	34	0.71	3	0.10	79	2.72	345	11.90	89	3.07	4	0.14	2	0.07	27	0.93	1	0.03
石川県	16	0.33	2	0.07	63	2.17	425	14.66	49	1.69	11	0.38	11	0.38	24	0.83	1	0.03
福井県	21	0.66	8	0.36	61	2.77	277	12.59	58	2.64	8	0.36	15	0.68	19	0.86	-	-
山梨県	9	0.22	1	0.04	15	0.60	235	9.40	47	1.88	3	0.12	6	0.24	14	0.56	-	-
長野県	109	1.27	4	0.07	87	1.61	657	12.17	228	4.22	2	0.04	9	0.17	49	0.91	-	-
岐阜県	117	1.58	2	0.04	96	2.04	251	5.34	100	2.13	17	0.36	8	0.17	40	0.85	1	0.02
静岡県	244	1.78	16	0.19	86	1.00	1020	11.86	220	2.56	6	0.07	34	0.40	78	0.91	5	0.06
愛知県	156	0.81	6	0.03	288	1.58	1505	8.27	405	2.23	43	0.24	97	0.53	139	0.76	3	0.02
三重県	109	1.49	7	0.16	46	1.02	658	14.62	85	1.89	12	0.27	15	0.33	48	1.07	-	-
滋賀県	15	0.31	2	0.06	54	1.69	129	4.03	47	1.47	7	0.22	13	0.41	21	0.66	-	-
京都府	139	1.10	1	0.01	62	0.82	758	9.97	106	1.39	1	0.01	20	0.26	47	0.62	-	-
大阪府	602	1.99	18	0.09	189	0.98	1278	6.62	280	1.45	25	0.13	38	0.20	132	0.68	4	0.02
兵庫県	518	2.62	15	0.12	184	1.44	1407	10.99	248	1.94	32	0.25	32	0.25	108	0.84	1	0.01
奈良県	119	2.16	-	-	32	0.91	446	12.74	91	2.60	-	-	4	0.11	16	0.46	-	-
和歌山県	460	9.58	-	-	33	1.06	291	9.39	85	2.74	1	0.03	-	-	32	1.03	-	-
鳥取県	26	0.90	5	0.26	137	7.21	254	13.37	51	2.68	3	0.16	4	0.21	23	1.21	-	-
島根県	65	1.71	5	0.22	20	0.87	239	10.39	38	1.65	2	0.09	1	0.04	17	0.74	1	0.04
岡山県	89	1.06	8	0.15	67	1.24	538	9.96	124	2.30	11	0.20	9	0.17	31	0.57	-	-
広島県	63	0.56	10	0.13	99	1.32	965	12.87	120	1.60	11	0.15	24	0.32	58	0.77	1	0.01
山口県	115	1.64	20	0.41	79	1.61	662	13.51	136	2.78	17	0.35	8	0.16	61	1.24	-	-
徳島県	103	2.71	-	-	32	1.39	318	13.83	31	1.35	5	0.22	4	0.17	17	0.74	1	0.04
香川県	107	2.10	4	0.13	32	1.00	373	11.66	38	1.19	9	0.28	9	0.28	22	0.69	1	0.03
愛媛県	39	0.61	10	0.26	57	1.46	641	16.44	128	3.28	-	-	11	0.28	42	1.08	1	0.03
高知県	207	4.22	1	0.03	44	1.42	341	11.00	50	1.61	3	0.10	3	0.10	39	1.26	1	0.03
福岡県	226	1.44	7	0.07	166	1.64	1308	12.95	293	2.90	40	0.40	98	0.97	123	1.22	-	-
佐賀県	14	0.36	-	-	43	1.87	299	13.00	59	2.57	15	0.65	17	0.74	35	1.52	1	0.04
長崎県	49	0.74	1	0.02	16	0.33	246	5.13	102	2.13	49	1.02	7	0.15	20	0.42	-	-
熊本県	18	0.22	13	0.27	70	1.43	632	12.90	141	2.88	48	0.98	66	1.35	44	0.90	2	0.04
大分県	55	0.95	2	0.06	76	2.11	545	15.14	78	2.17	6	0.17	8	0.22	53	1.47	1	0.03
宮崎県	80	1.33	6	0.16	80	2.16	994	26.86	183	4.95	49	1.32	35	0.95	36	0.97	-	-
鹿児島県	304	3.10	10	0.17	47	0.78	624	10.40	102	1.70	5	0.08	4	0.07	36	0.60	-	-
沖縄県	30	0.52	-	-	30	0.88	92	2.71	142	4.18	105	3.09	-	-	8	0.24	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年5週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	110	0.04	645	0.21	4627	1.53	33	0.05	750	1.18	4	0.01	6	0.01	19	0.04
北海道	1	0.01	-	-	49	0.34	192	1.32	-	-	26	0.90	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	-	-	4	0.10	40	0.98	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	2	0.05	5	0.13	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	3	0.05	13	0.22	11	0.19	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	13	0.37	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	42	1.40	-	-	2	0.25	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.02	-	-	35	0.73	24	0.50	1	0.08	10	0.83	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	2	0.03	7	0.10	99	1.36	1	0.06	55	3.44	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	3	0.07	13	0.28	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	2	0.03	7	0.11	77	1.24	-	-	42	3.00	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	11	0.07	24	0.15	509	3.22	1	0.03	38	1.06	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.03	1	0.01	11	0.08	239	1.81	1	0.03	37	1.12	1	0.08	-	-	-	-
東京都	3	0.02	5	0.04	8	0.06	148	1.04	-	-	33	2.36	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	0.00	5	0.02	19	0.09	448	2.19	-	-	62	1.48	-	-	1	0.09	3	0.27
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	188	3.13	-	-	16	1.78	-	-	-	-	4	0.31
富山県	-	-	2	0.07	2	0.07	14	0.48	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	16	0.55	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	2	0.09	130	5.91	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20
山梨県	-	-	-	-	-	-	11	0.44	-	-	-	-	-	-	1	0.10	-	-
長野県	1	0.02	1	0.02	1	0.02	55	1.02	1	0.10	8	0.80	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	-	-	93	1.98	1	0.09	8	0.73	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	3	0.03	14	0.16	215	2.50	-	-	16	0.80	-	-	1	0.13	-	-
愛知県	2	0.01	6	0.03	10	0.05	234	1.29	1	0.03	22	0.63	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.02	5	0.11	59	1.31	-	-	1	0.08	1	0.11	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	-	-	-	-	52	1.63	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	3	0.04	6	0.08	107	1.41	-	-	8	0.44	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	15	0.08	42	0.22	283	1.47	2	0.04	15	0.29	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	2	0.02	8	0.06	147	1.15	-	-	34	0.97	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	2	0.06	27	0.77	30	0.86	-	-	14	1.56	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	4	0.13	1	0.03	8	0.26	-	-	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	2	0.11	6	0.32	21	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	32	1.39	-	-	1	0.33	-	-	1	0.13	-	-
岡山県	-	-	-	-	5	0.09	19	0.35	1	0.08	12	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.03	10	0.13	11	0.15	69	0.92	-	-	18	0.90	-	-	-	-	2	0.10
山口県	2	0.04	2	0.04	8	0.16	108	2.20	5	0.56	25	2.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	1	0.04	-	-	16	0.70	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.06	1	0.03	67	2.09	-	-	9	3.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	0.03	36	0.92	-	-	22	3.14	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	3	0.10	126	4.06	25	0.81	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	0.02	8	0.08	76	0.75	313	3.10	-	-	51	2.22	1	0.07	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	73	3.17	1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	2	0.04	25	0.52	16	1.60	30	3.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.04	3	0.06	14	0.29	210	4.29	1	0.11	14	1.56	-	-	1	0.07	4	0.27
大分県	-	-	3	0.08	46	1.28	32	0.89	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	6	0.16	23	0.62	-	-	23	5.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	1	0.02	33	0.55	26	0.43	-	-	11	1.83	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	2	0.06	10	0.29	30	0.88	-	-	12	1.20	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年5週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	76	0.16	1	0.00	24	0.05
北海道	10	0.43	-	-	1	0.04
青森県	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	4	0.33	-	-	-	-
秋田県	7	0.88	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	1	0.11
福島県	6	0.86	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	3	0.27	-	-	-	-
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	5	0.50	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	2	0.15
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	3	0.43	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.07	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	2	0.18	-	-	1	0.09
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	2	0.10	-	-	-	-
山口県	1	0.11	1	0.11	-	-
徳島県	2	0.33	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	15	1.88
福岡県	3	0.20	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	2	0.20
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第5号 平成13年2月19日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。